

参考資料



科学技術と社会に関する世論調査 (世論調査報告書 平成29年9月 内閣府調 査)

2017年12月15日

第10回政策研究レビューセミナー

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

第1調査研究グループ

調査対象： 全国の日本国籍を有する18 歳以上の者 3,000 人
有効回収数1,765 人（回収率 58.8%）

調査期間： 平成29 年9 月14 日 ～ 9 月24 日

調査方法： 調査員による個別面接聴取

調査目的： 科学技術と社会に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

調査実績：

「科学技術と社会に関する世論調査」

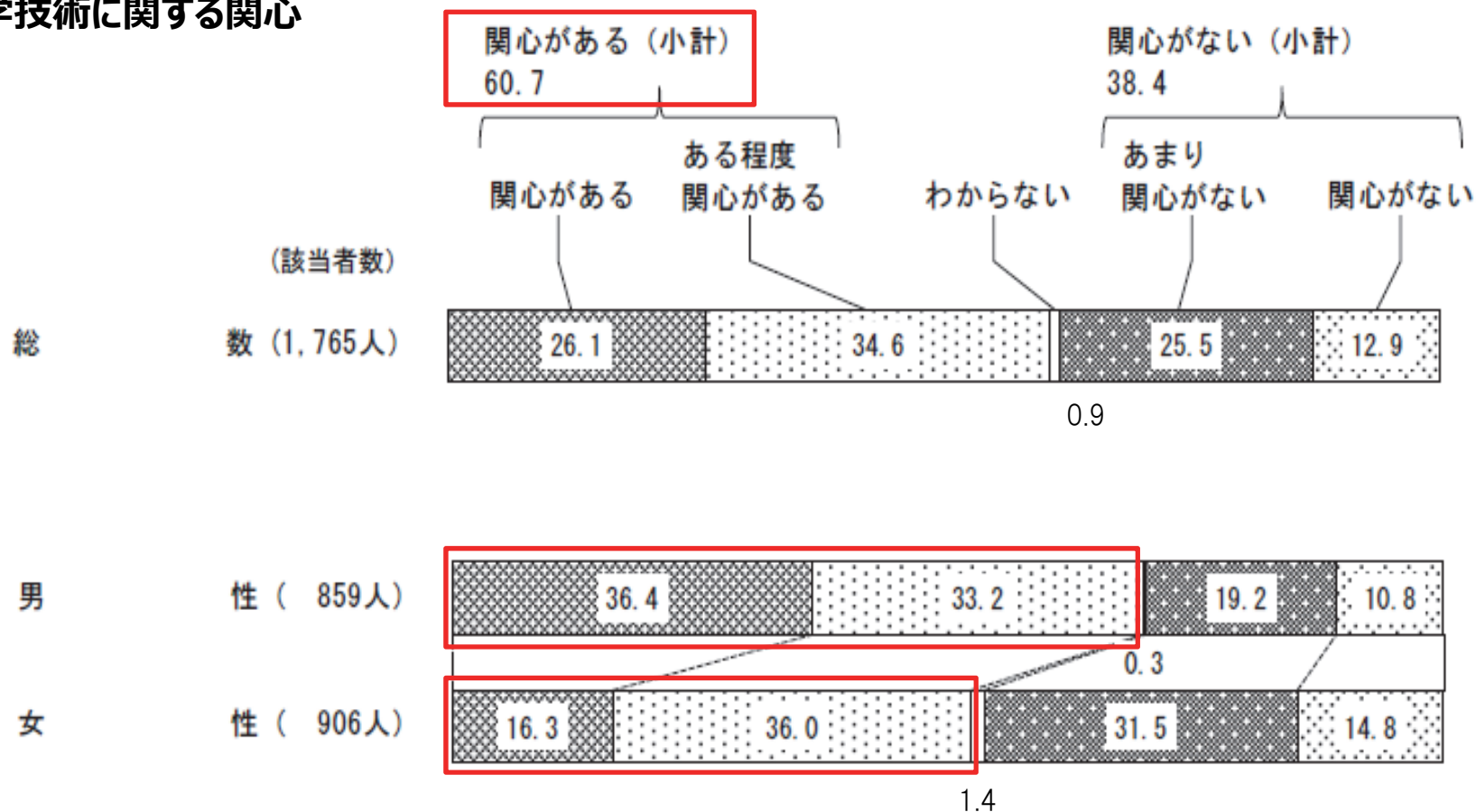
・平成7 年、平成16 年、平成19 年、平成22 年

1. 科学技術に関する関心

「科学技術に関する関心」について、「関心がある」若しくは「ある程度関心がある」と回答する者の割合は約6割。

- ・前回調査と比較して大きな変化は見られない（統計的な有意差なし）。
（63.0%（前回調査（平成22年1月））→今回：60.7%）
- ・女性より男性の方が「関心がある（小計）」は高い。

科学技術に関する関心

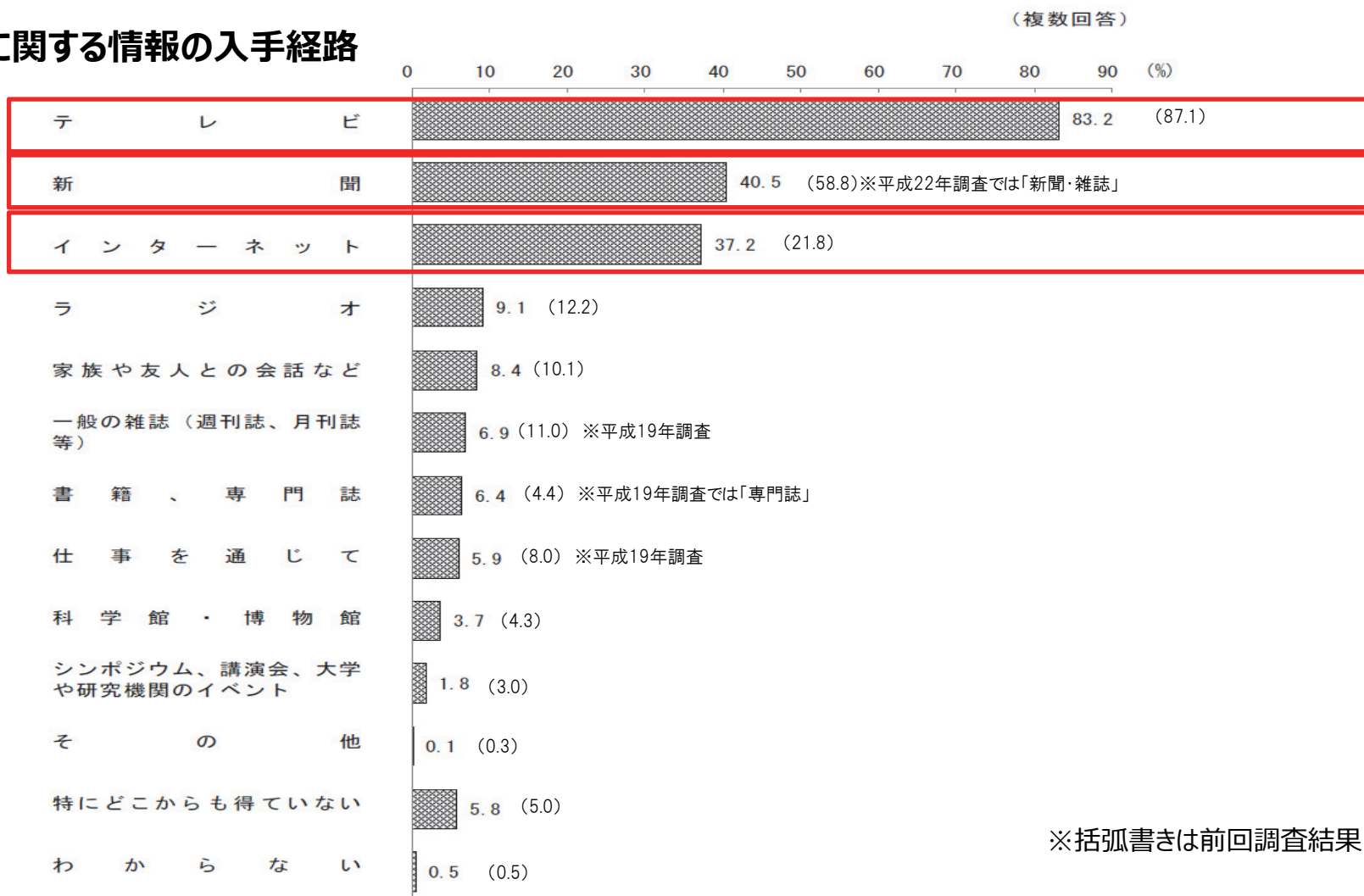


2. 科学技術に関する情報の入手経路

「科学技術に関する情報の入手経路」を聞いたところ、テレビ（83.2%）、新聞（40.5%）、インターネット（37.2%）などとなった。

・前回調査（平成22年1月）と比べて、**インターネットが増加。**

科学技術に関する情報の入手経路

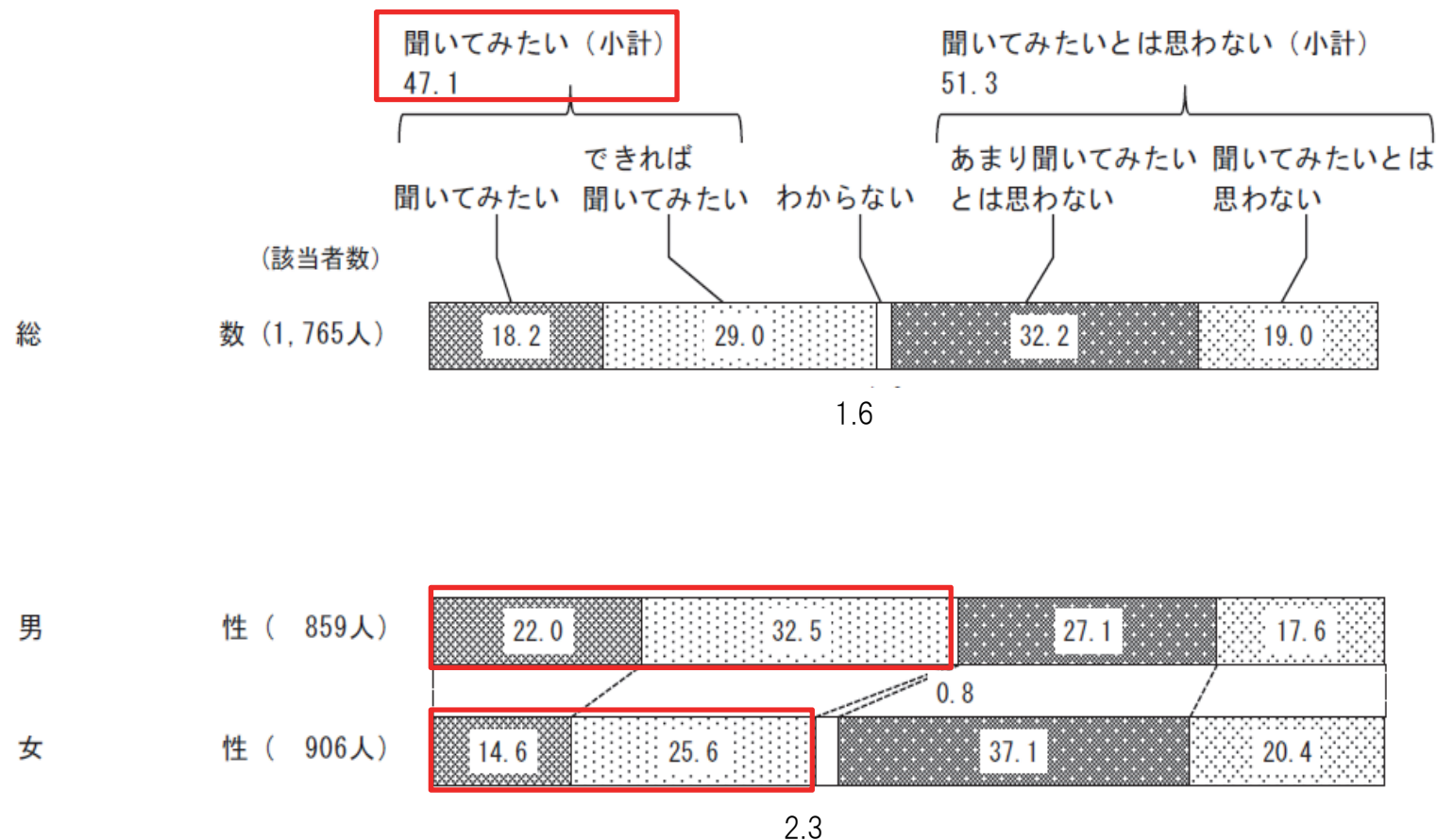


3. 科学者や技術者の話への関心

「科学者や技術者の話への関心」について、「聞いてみたい」若しくは「できれば聞いてみたい」と回答する者の割合は約5割。

- ・前回調査と比較して**減少**（61.8%(前回調査（平成22年1月））→今回：47.1%）。
- ・女性より男性の方が「聞いてみたい（小計）」は高い。

科学者や技術者の話への関心

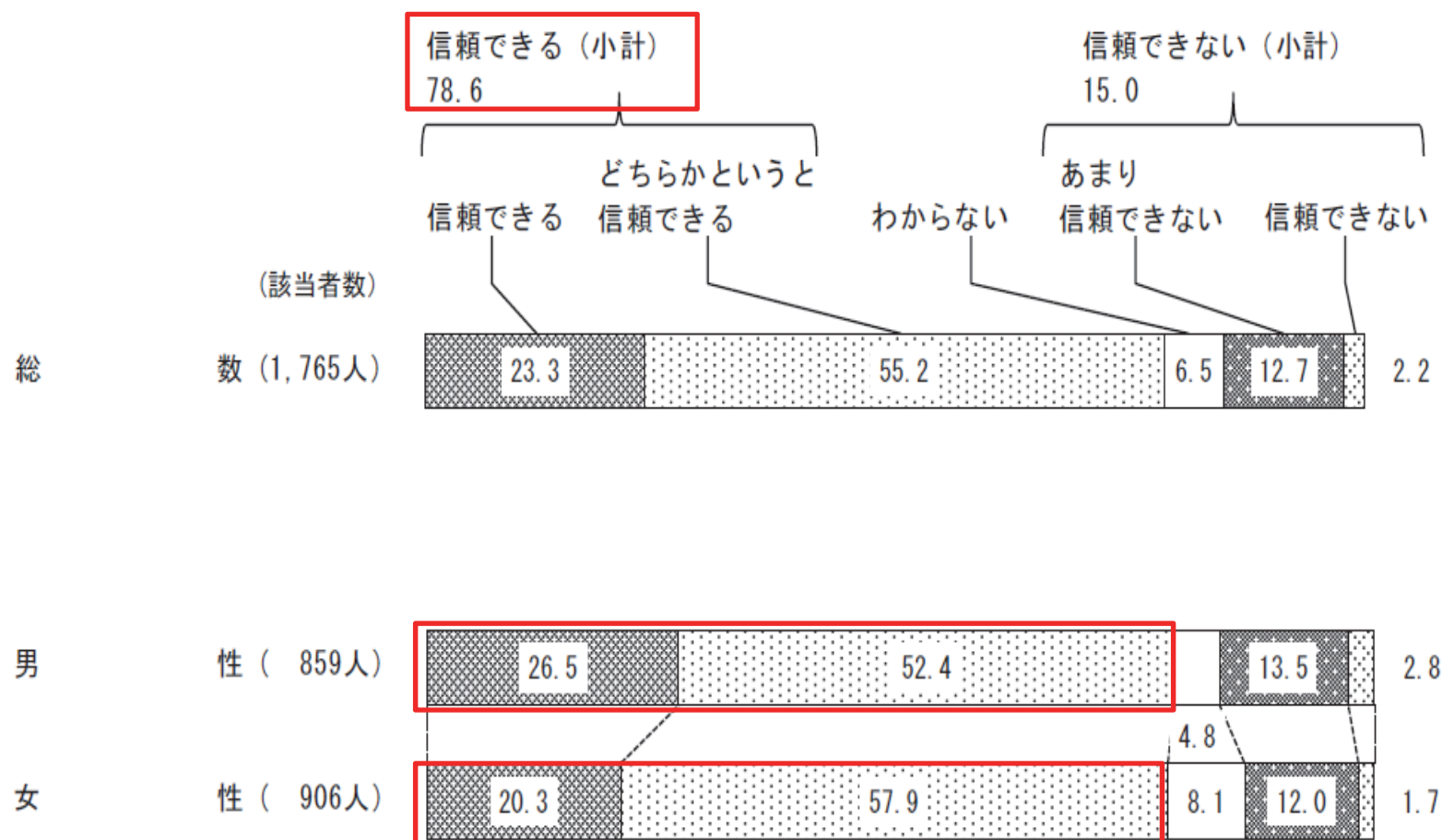


4. 科学者や技術者の話への信頼

今回初の質問：「科学者や技術者の話への信頼」について、「信頼できる」若しくは「どちらかという信頼できる」と回答する者の割合は約8割。：

・信頼に関しては男女ほぼ同じ。

科学者や技術者の話への信頼

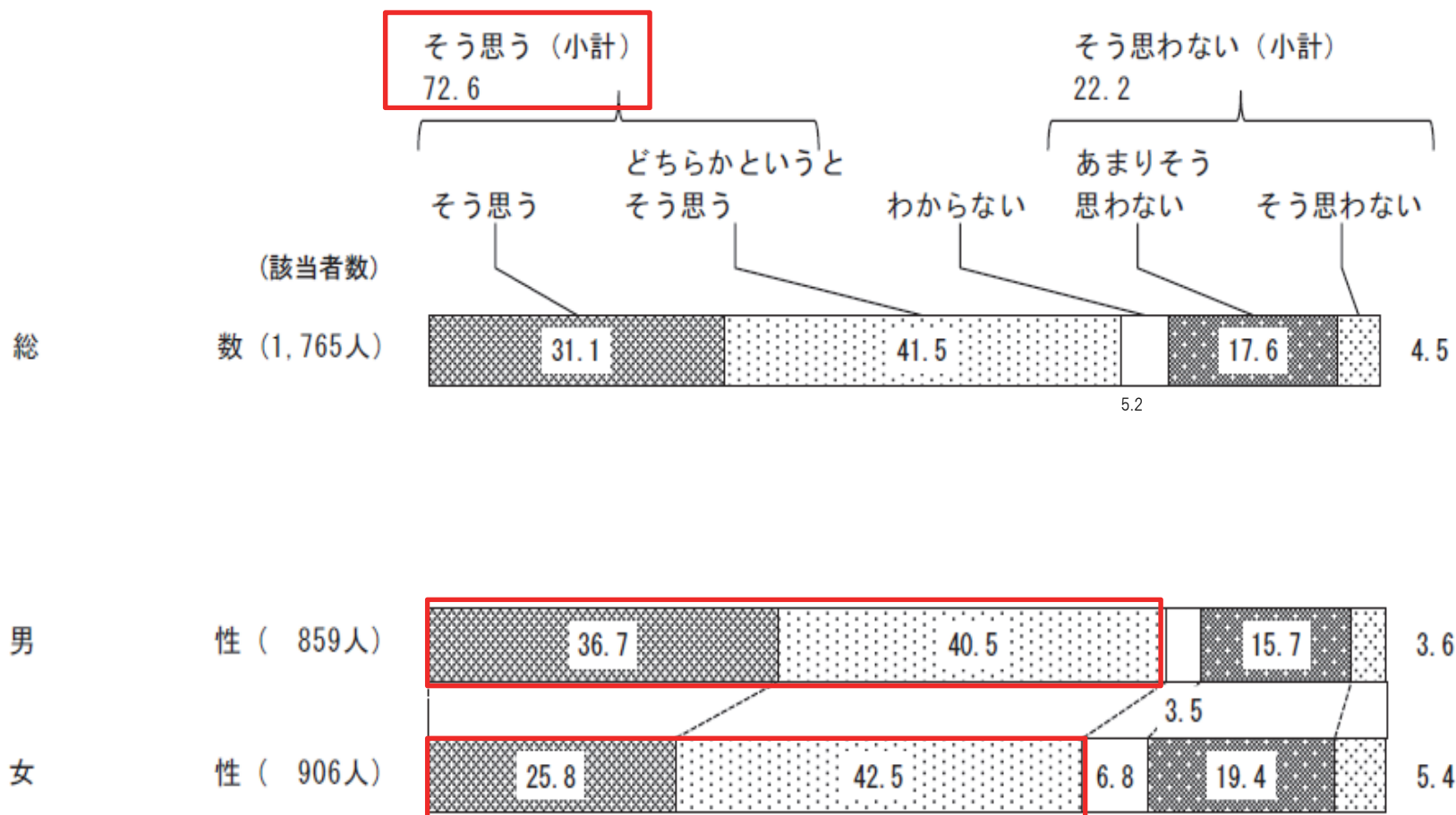


5. 現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる

「現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる」について、「そう思う」若しくは「どちらかというと思う」と回答する者の割合は72.6%。

- ・前回調査と比較して**減少**（79.5%（前回調査（平成22年1月））→今回：72.6%）。
- ・女性より男性の方が「そう思う（小計）」が多い。

現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる

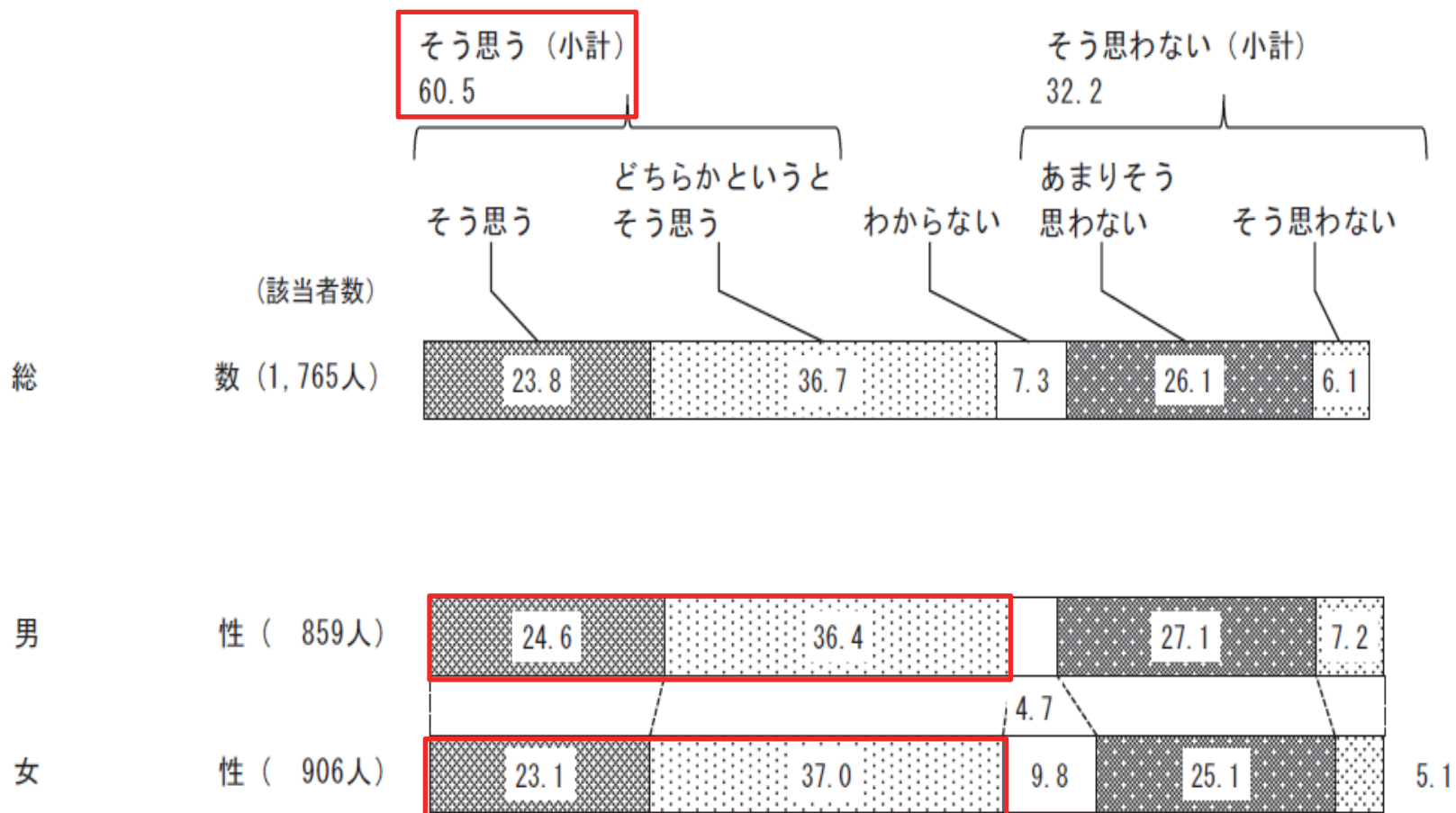


6. 10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる

今回初の質問：「10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる」について、「そう思う」若しくは「どちらかというと思う」と回答する者の割合は60.5%。

- ・「現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる」（72.6%）と比べて、低い傾向。
- ・女性と男性における「そう思う（小計）」はほぼ同じ。

10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる

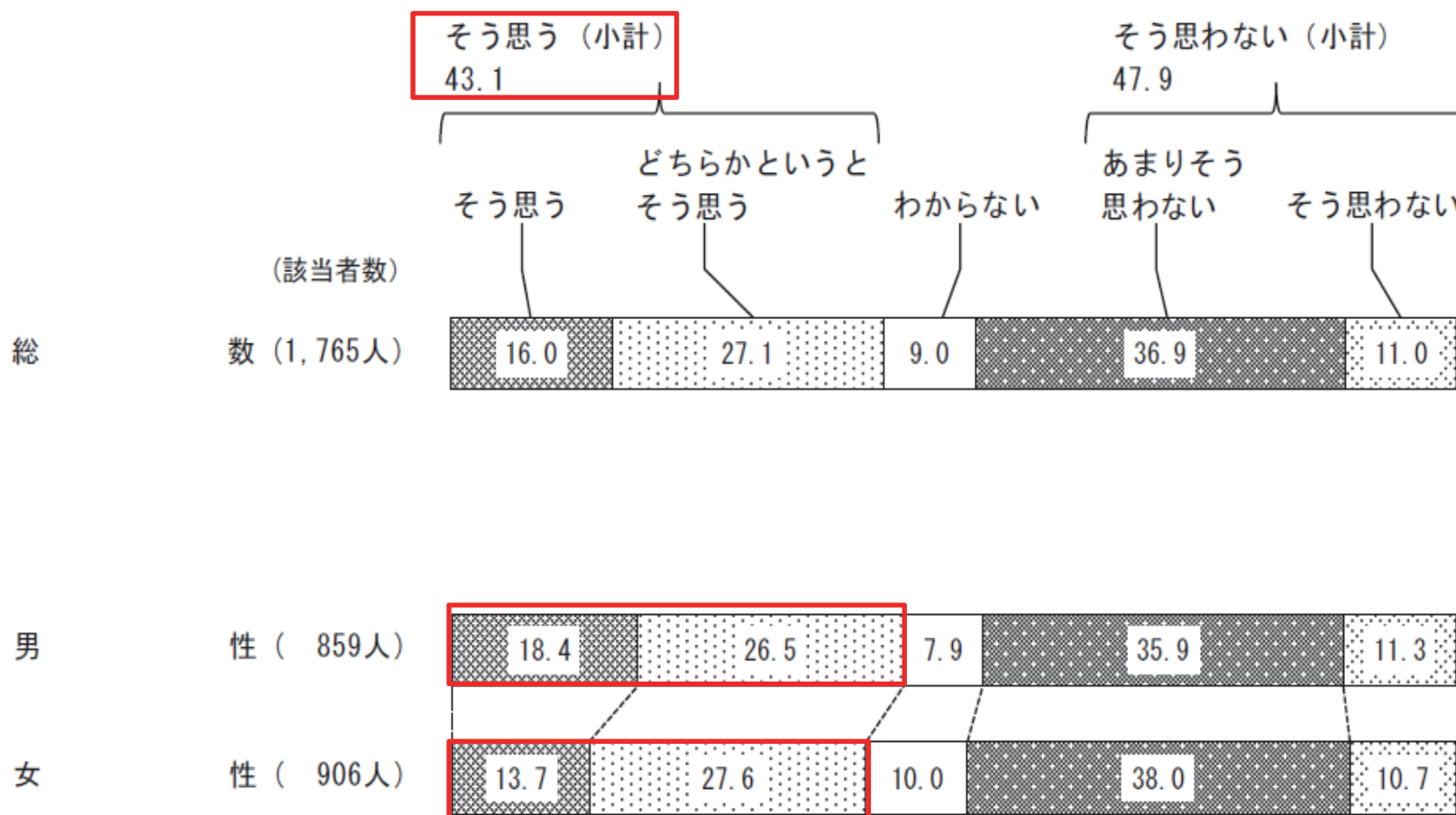


7. 理科や数学の授業は、科学的センスを育てるのに役立っている

「理科や数学の授業は、科学的センスを育てるのに役立っている」について、「そう思う」若しくは「どちらかというと思う」と回答する者の割合は43.1%。

- ・前回調査と比較して**減少**（48.2%（前回調査（平成22年1月））→今回：43.1%）。
- ・女性より男性の方が「そう思う（小計）」が多い。

理科や数学の授業は、科学的センスを育てるのに役立っている

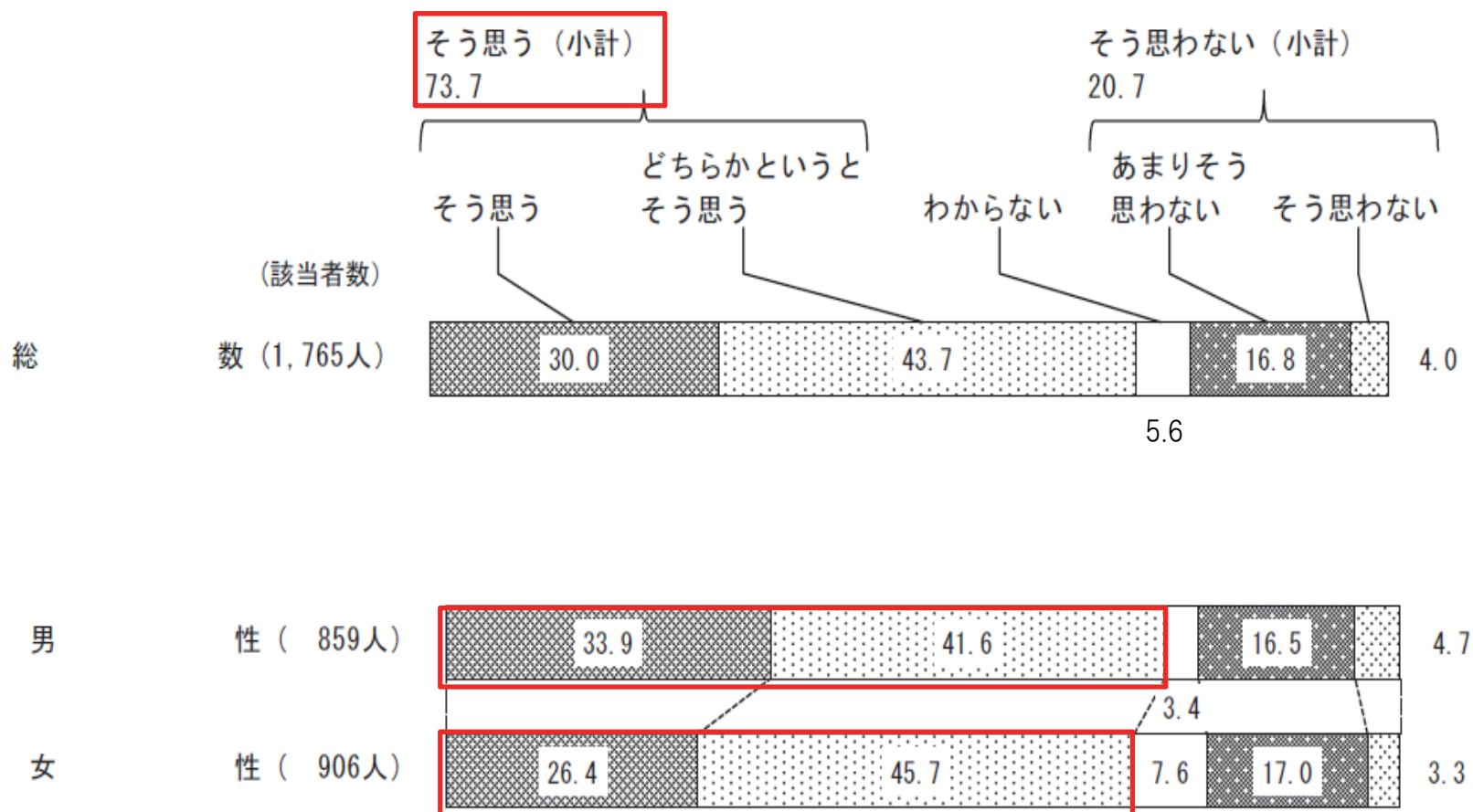


8. 社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される

「社会の新たな問題は、科学技術の発展によって解決される」について、「そう思う」若しくは「どちらかというと思う」と回答する者の割合は73.7%。

- ・前回調査と比較して大きな変化は見られない（統計的な有意差なし）（75.1%（前回調査（平成22年1月））→今回：73.7%）。
- ・女性より男性の方が「そう思う（小計）」が多い。

社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される

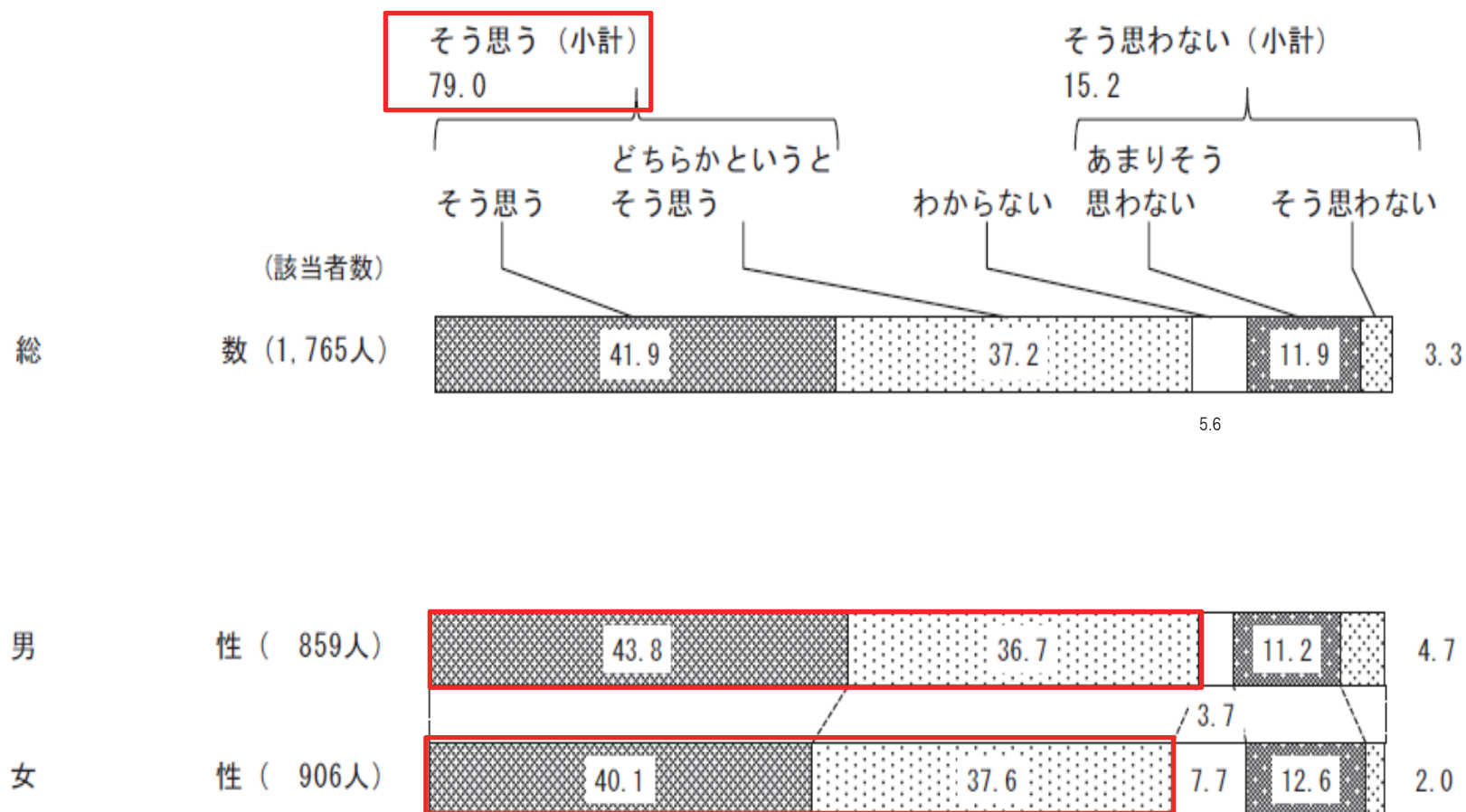


9. 科学技術政策の検討には、一般の国民の関わりが必要

「科学技術政策の検討には、一般の国民の関わりが必要」について、「そう思う」若しくは「どちらかというと思う」と回答する者の割合は79.0%。

- ・前回調査と比較して**増加**（71.7%（前回調査（平成16年2月））→今回：79.0%）。
- ・女性より男性の方が「そう思う（小計）」が多い。

科学技術政策の検討には、一般の国民の関わりが必要

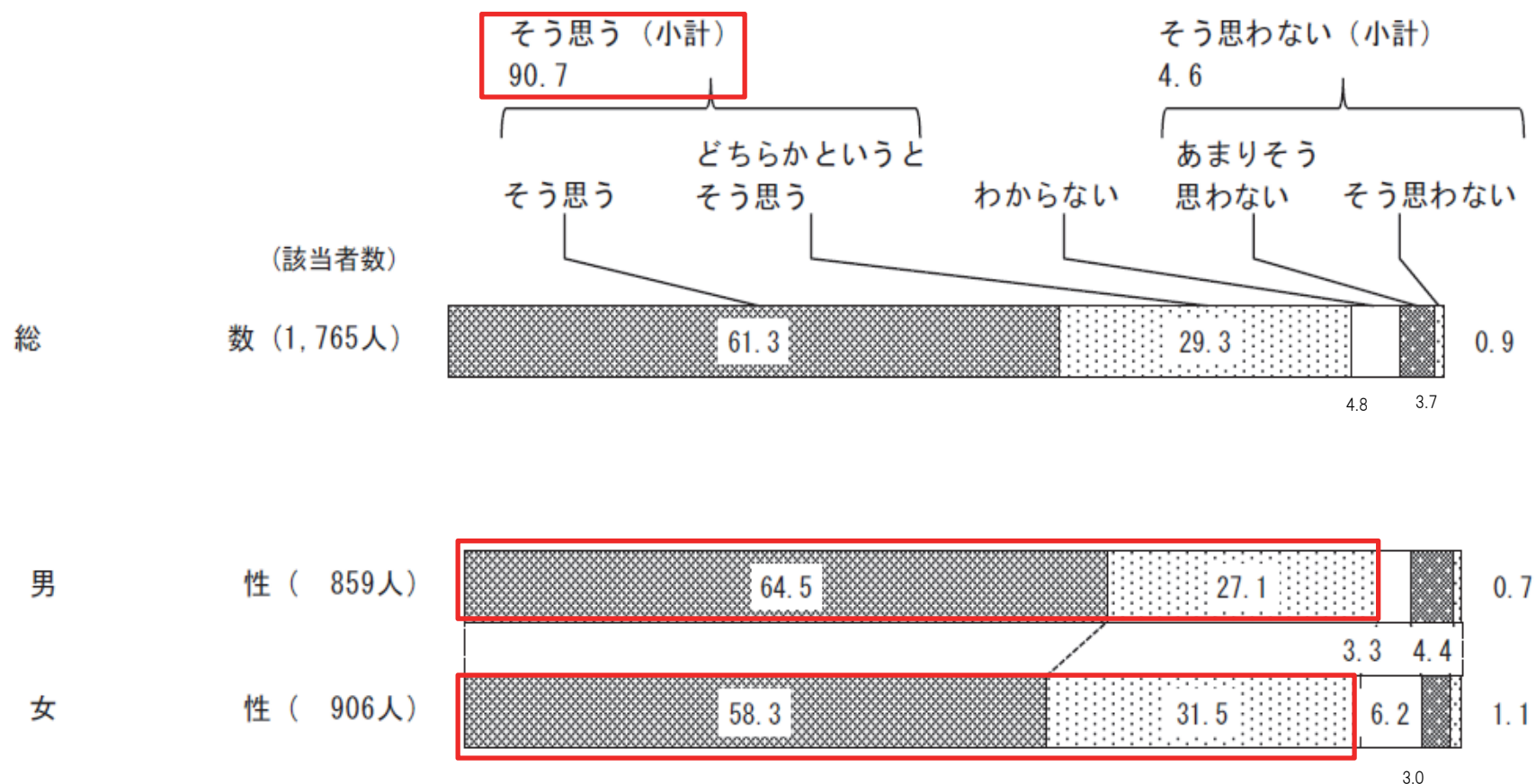


10. 再生医療に関する科学技術イノベーションにより、治療技術が進歩する

今回初の質問：「再生医療に関する科学技術イノベーションにより、治療技術が進歩する」について、「そう思う」若しくは「どちらかというと思う」と回答する者の割合は90.7%。

・女性より男性の方が「そう思う（小計）」が多い。

再生医療に関する科学技術イノベーションにより、治療技術が進歩する



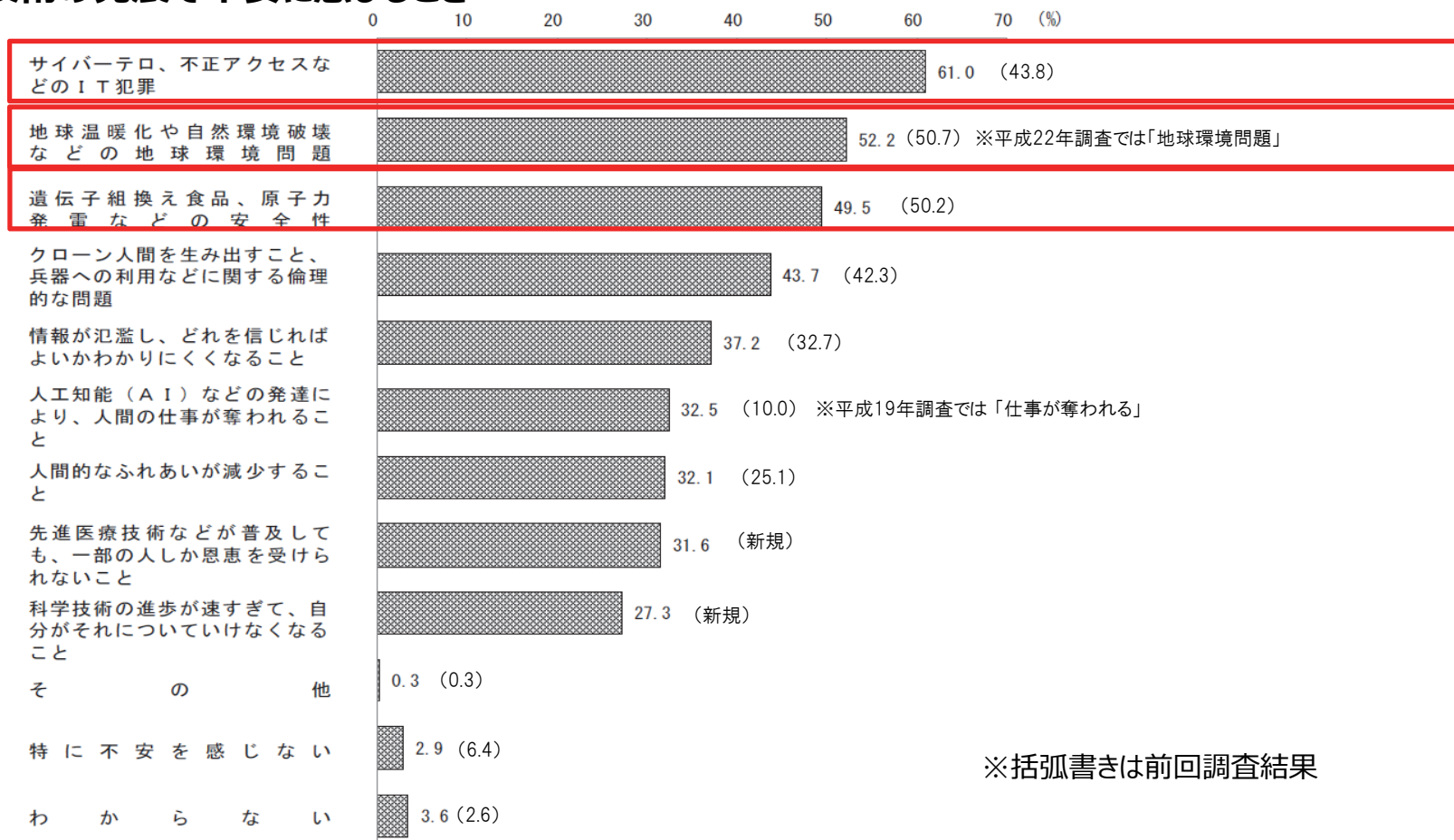
1 1. 科学技術の発展で不安に感じること

「科学技術の発展で不安に感じること」を聞いたところ、サイバーテロなどのIT犯罪（61.0%）、温暖化や環境破壊などの地球環境問題（52.2%）、遺伝子組換え食品、原子力発電等の安全（49.5%）などとなった。

- ・前回調査と比較して、**サイバーテロなどのIT犯罪等への不安が増加。**
（43.8%（前回調査（平成22年1月））→今回：61.0%）。

科学技術の発展で不安に感じること

（複数回答）



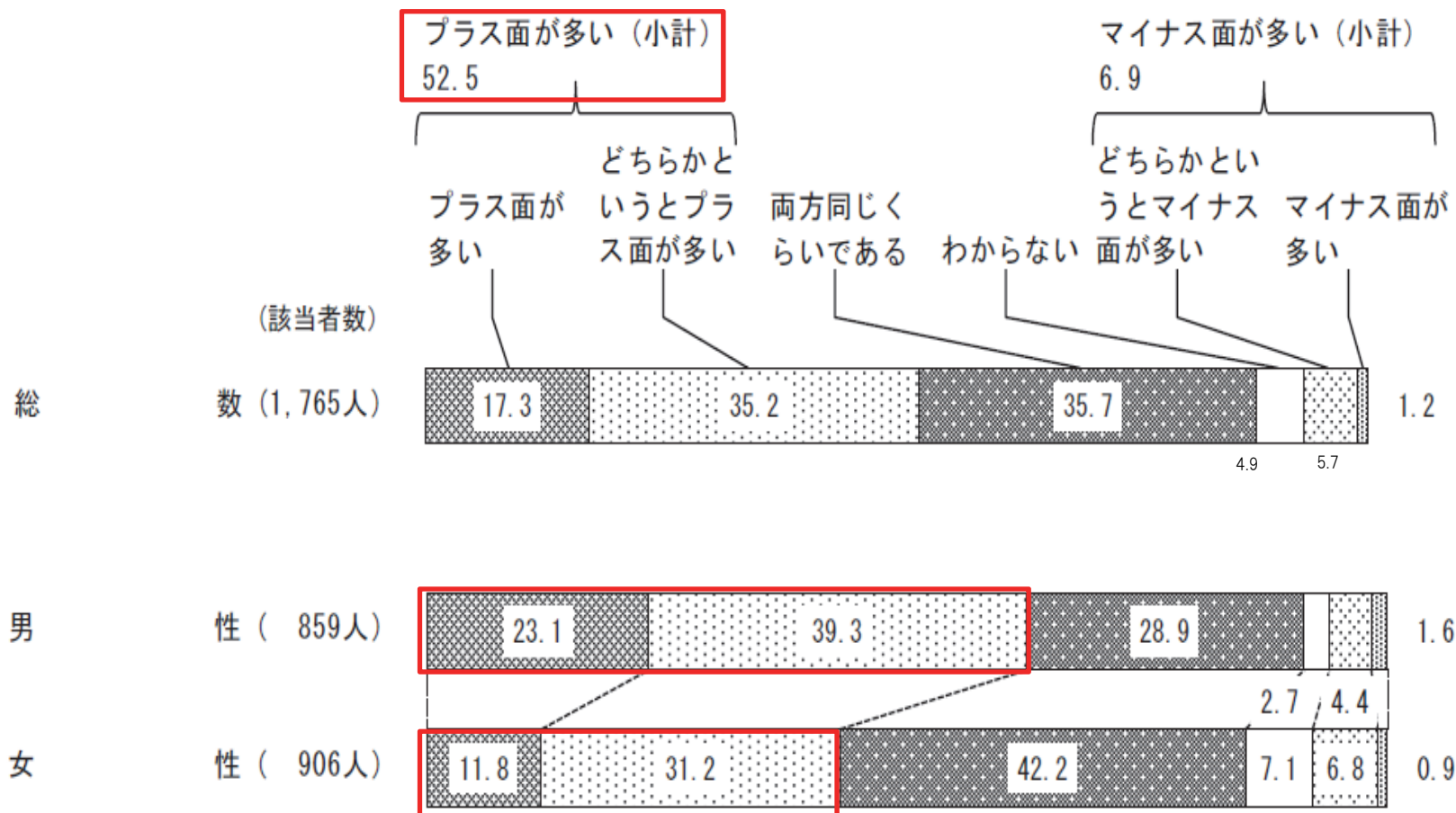
※括弧書きは前回調査結果

1 2. 科学技術の発展によるプラス面とマイナス面

「科学技術の発展によるプラス面とマイナス面」について、「プラス面が多い」若しくは「どちらかというとプラス面が多い」と回答する者の割合は52.5%。

- ・前回調査と比較して大きな変化は見られない（統計的な有意差なし）
（53.5%（前回調査（平成22年1月））→今回：52.5%）。
- ・女性より男性の方が「プラス面が多い（小計）」が多い。

科学技術の発展によるプラス面とマイナス面



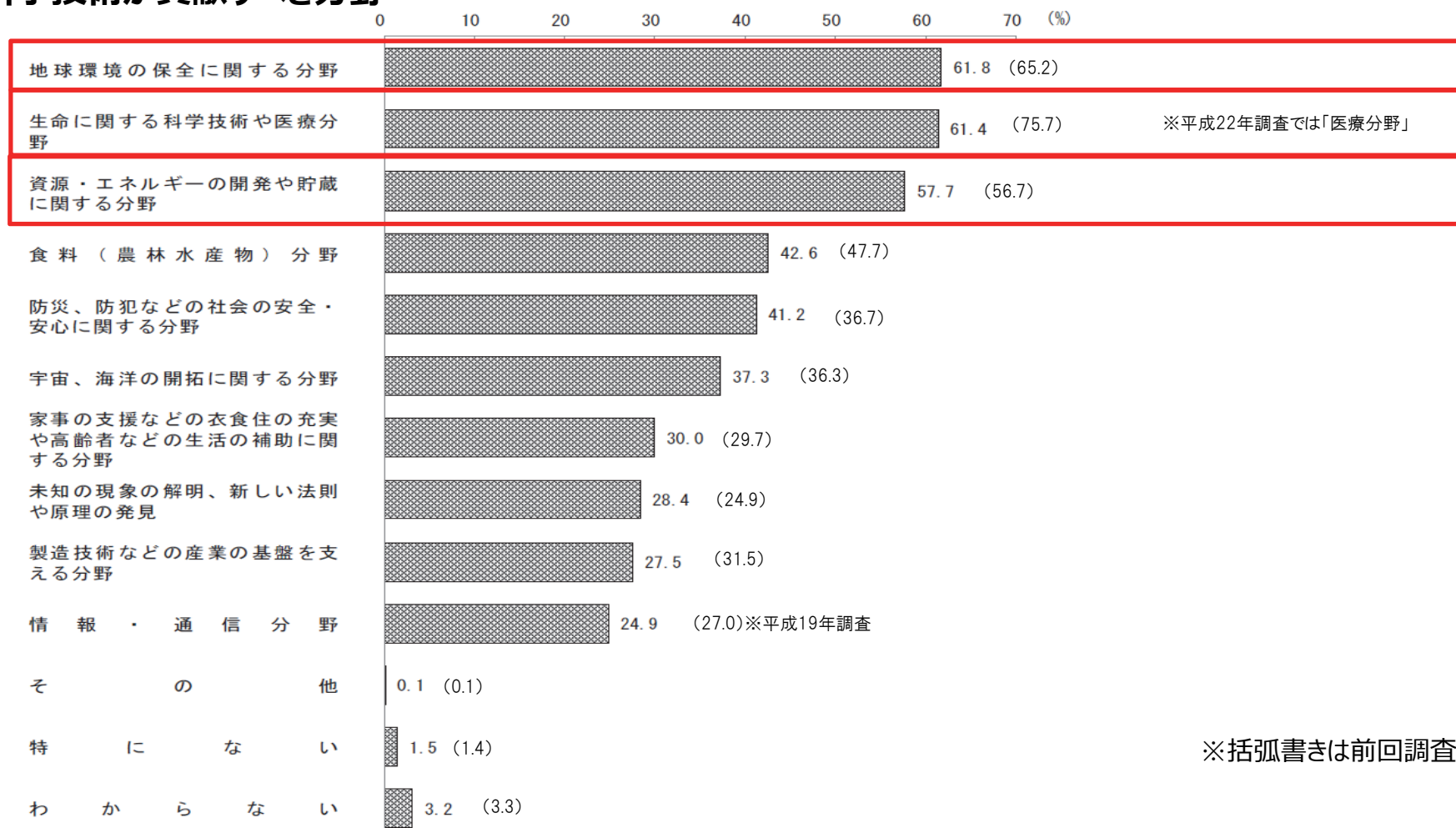
13. 科学技術が貢献すべき分野

「科学技術が貢献すべき分野」を聞いたところ、地球環境の保全に関する分野（61.8%）、生命に関する科学技術や医療分野（61.4%）、資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野（57.7%）などとなった。

・前回調査（平成22年1月）と比較して、地球環境の保全に関する分野等は減少。

科学技術が貢献すべき分野

（複数回答）



※括弧書きは前回調査結果

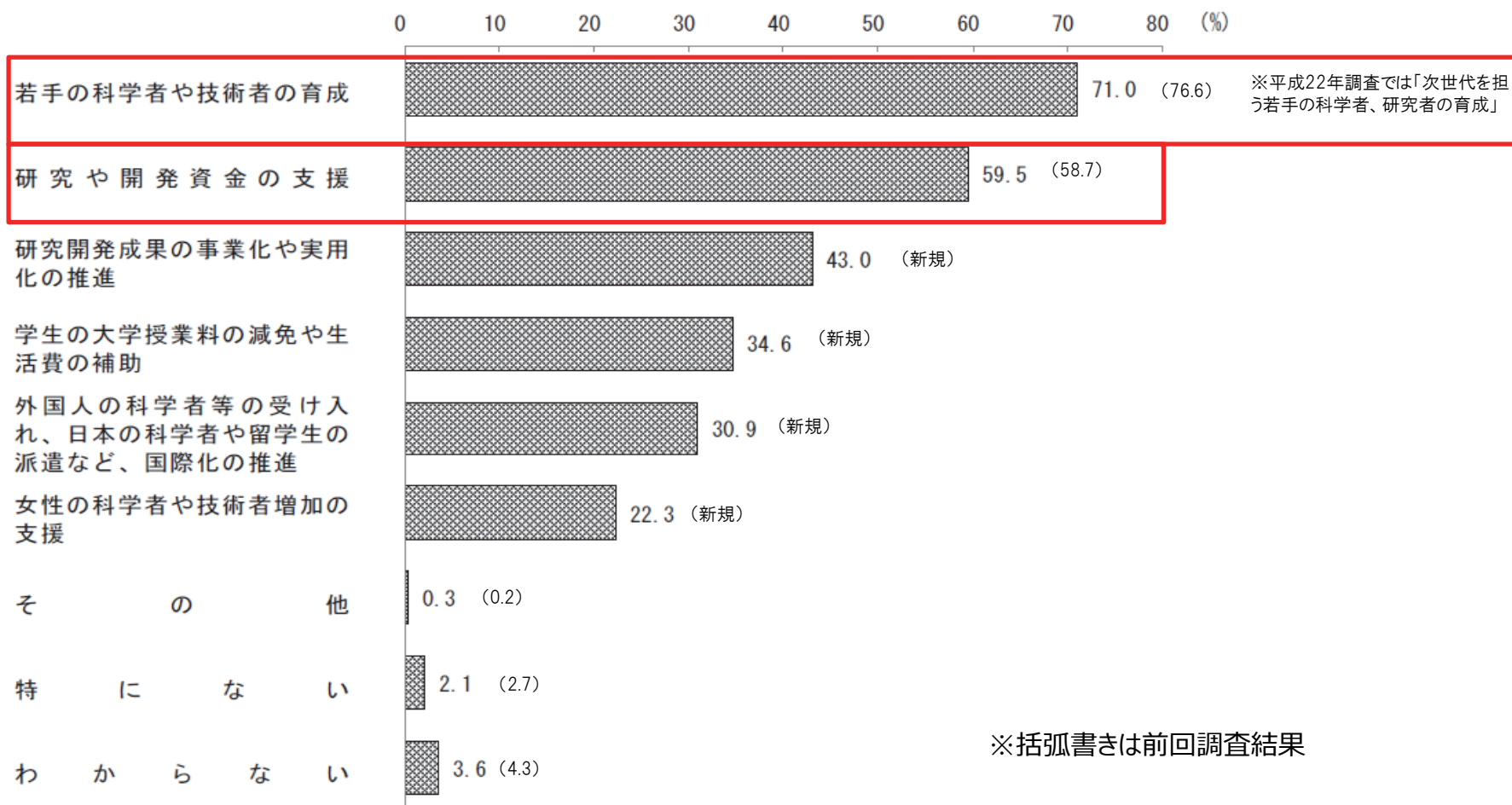
14. 科学技術の発展のために必要な政策

「科学技術の発展のために必要な政策」を聞いたところ、若手の科学者や技術者の育成（71.0%）、研究や開発資金の支援（59.5%）、研究開発成果の事業化や実用化の推進（43%）などとなった。

・前回調査と比較して、若手の科学者や技術者の育成は減少（76.6%（前回調査（平成22年1月））→ 71.0%）

科学技術の発展のために必要な政策

（複数回答）



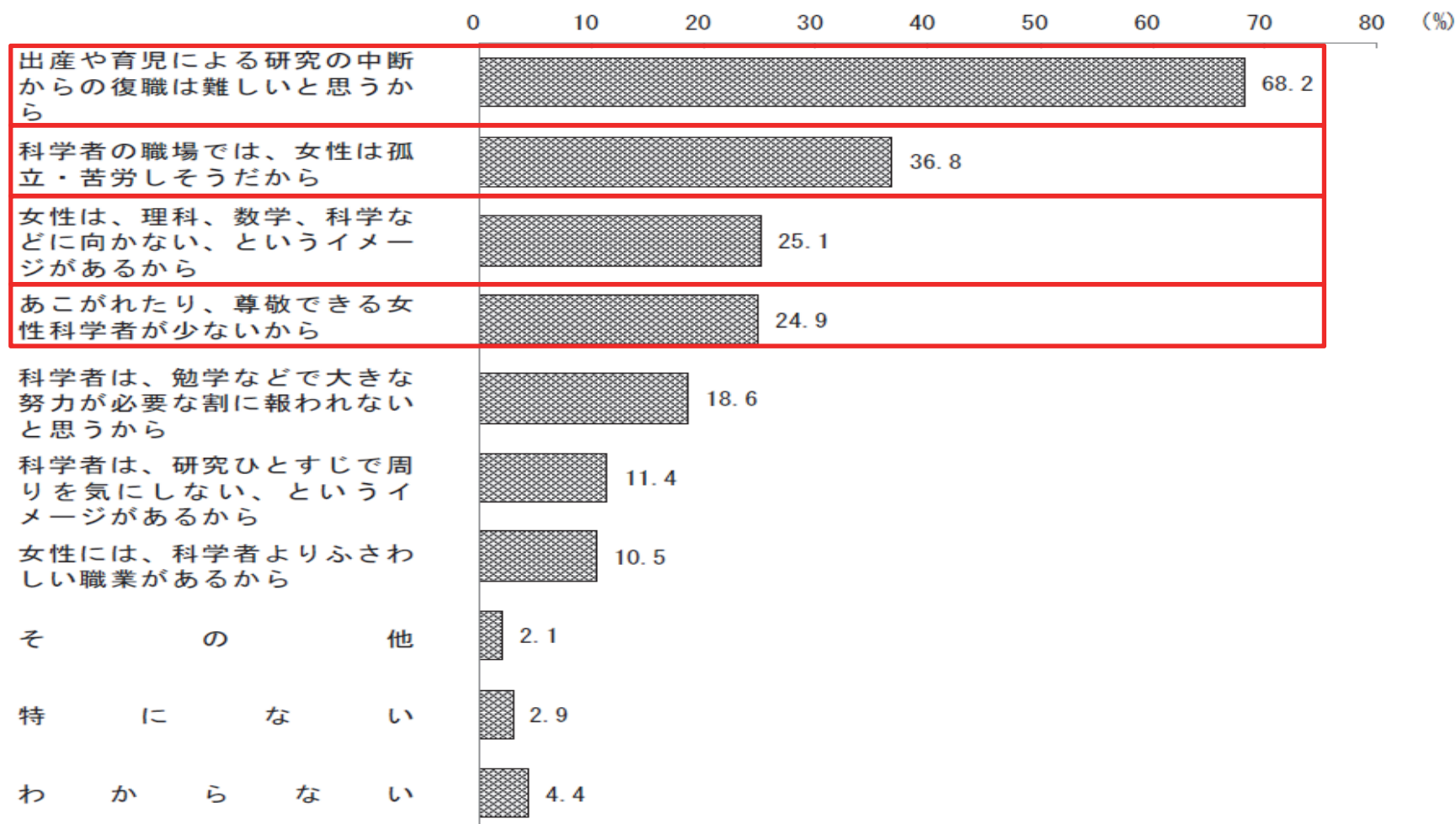
※括弧書きは前回調査結果

15. 女性科学者の割合が低い理由

今回初の質問：「女性科学者の割合が低い理由」を聞いたところ、「出産等による研究中断から復職が難しい」（68.2%）、「科学者の職場では孤立・苦勞しそう」（36.8%）、「女性は理科等に向かないイメージある」（25.1%）、「あこがれたり、尊敬できる女性科学者が少ないから」（24.9%）などとなった。

女性科学者の割合が低い理由

（複数回答）



16. 女性科学者を増やすために力を入れること

今回初の質問：「女性科学者を増やすために力を入れること」を聞いたところ、「子育てや介護中であっても研究が続けられるよう支援する」（69.8%）、「子育てや介護などでいったん辞めた科学者や技術者の再就職を支援する」（59.8%）、「従来、女性が少なかった分野（工学など）への女性の進出を支援する」（43.5%）などとなった。

女性科学者を増やすために力を入れること

（複数回答）

